
令和7年度の主な取り組み



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と
世界三大波濤のまち

－ 目 次 －

1. デマンドタクシー実証運行事業の検証
2. 留萌旭川速達便実証運行事業の検証
3. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の検証
4. 運転手確保に向けた取り組みへの支援

1. デマンドタクシー実証運行事業の検証

■ 事業目的

- ・ JR留萌本線(石狩・沼田間)の廃線に伴い、JRが運行していて、留萌旭川線バスが運行していない時間帯における、深川方面の移動手段を確保するため、令和5年4月から「**デマンドタクシー(留萌・深川間)**」を実証運行。
- ・ 実証運行期間は早朝便は令和6年度まで、**夜間便は令和7年度**まで。

■ 検証結果

- ・ 夜間便については令和7年度中の検証を予定していたが、市理事者の変更、留萌市地域公共交通活性化協議会会長が不在になったことを受け、検証期間(実証運行)を延長し、令和8年度に入り、改めて検証することとなった。
- ・ 検証結果については、「協議事項(2) デマンドタクシー実証運行事業の今後の方向性」において、別途詳細を説明。

2. 留萌旭川速達便実証運行事業の検証

■ 事業目的

- ・ JR留萌本線(石狩・沼田間)の廃線に伴い、旭川への速達性を高める新たな交通体系として、高規格道路を經由しながら、羽幌・旭川間を運行する「留萌旭川速達便(特急あさひかわ号)」を令和5年4月から実証運行。
- ・ 実証運行期間は令和7年度まで。



■ 運行概要

- ・ 【運行会社】 沿岸バス(株)
- ・ 【運行区間】 羽幌ターミナル～留萌駅前～旭川駅(留萌IC～旭川鷹栖IC経由)
- ・ 【運行便数】 1日上下1便 通年運行
- ・ 【運行時間】 ○上り【羽幌→旭川】

羽幌発	留萌駅前	旭川着
7:50	8:50	10:25

- 下り【旭川→羽幌】

旭川発	留萌駅前	羽幌着
15:55	17:30	18:30

2. 留萌旭川速達便実証運行事業の検証

■ 利用実績(自治体別)

自治体名	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
留萌市	2,756人	52.6%	2,629人	49.2%	3,653人	55.1%
小平町	378人	7.2%	497人	9.3%	547人	8.3%
苫前町	581人	11.1%	635人	11.9%	664人	10.0%
羽幌町	1,526人	29.1%	1,583人	29.6%	1,762人	26.6%
合計	5,241人	100.0%	5,344人	100.0%	6,626人	100.0%

■ 運行経費実績

年度	経常費用	経常収益	差し引き	留萌市負担 (63%)	交通事業者負担 (37%)
令和5年度	10,971,336円	6,715,465円	4,255,871円	2,681千円	1,574千円
令和6年度	22,697,688円	13,034,929円	9,662,759円	6,087千円	3,575千円
令和7年度	24,788,636円	12,735,433円	12,053,203円	7,593千円	4,460千円

2. 留萌旭川速達便実証運行事業の検証

■ 実証運行の検証結果

検証 結果

- ① 既存公共交通を補完する新たな交通手段として一定の役割
- ② 沿線自治体等の利用も見られる一方、運行費用が収益を上回る状況
- ③ 費用負担の見直し、広域的な交通手段として制度化する必要性



課題

- ① 収支、費用負担の構造的課題
- ② 広域的運営体制の構築に関する課題
- ③ 現行サービス水準のあり方に関する課題



対応 方針

- ① 留萌市単独から、沿線自治体による共同負担での運行体制を確保
- ② 利便性とコストを両立した持続可能な運行体制を構築

3. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の検証

■ 事業概要

- ・ 高齢者の外出に係る金銭的負担を軽減し、社会活動の参画機会の創出、バス利用の促進を図るため、満70歳以上の高齢者が市内バス路線を利用する際の、バス運賃の無償化を実施。
- ・ 令和5年度は対象年齢を75歳以上、割引額を半額としていたが、令和6年度から対象年齢や割引額等を拡大しながら事業を継続。

■ 事業概要

- ・ 【対象者】 満70歳以上の市民
- ・ 【対象事業者】 沿岸バス(株)、道北バス(株)
- ・ 【対象路線】 市内バス路線(市内近郊線、日東団地線 等)
※ 郊外線も市内間の移動の場合は対象
- ・ 【利用方法】 市が交付する乗車証の提示により、市内バス路線の運賃を全額無償化
- ・ 【利用回数】 無制限



3. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の検証

■ 乗車証交付実績

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数	4,203人	5,882人	5,795人
交付者数	972人	2,626人	2,105人
交付率	23.1%	44.6%	36.3%

■ 市内近郊線利用者の推移

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市内線	13,324回	39,875回	41,444回
市外線	8,871回	19,970回	17,871回
計	22,195回	59,845回	59,315回

3. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の検証

■ 実証運行の検証結果

検証結果

- ① 高齢者の**外出機会増加**
- ② 公共交通の**利用促進**に寄与
- ③ 交通事業者の**経営改善**および公共交通の**維持**に寄与



課題

- ① 事業期間の延長及び申請手続きの簡素化
- ② 事務負担と運用の効率化
- ③ 財政負担の最適化



対応方針

- ① **令和8年度から本制度化**
(4月事業開始、乗車証の継続利用による申請手続きの負担軽減)
- ② **乗車証のIC化、財源確保に向けた継続調査・検討**

4. 運転手確保に向けた取り組みへの支援

■ 地域おこし協力隊制度の活用

- 行政による運転手確保に向けた取り組みの一つとして、「**地域おこし協力隊**」制度の活用が有効。
 - 地域おこし協力隊(地域公共交通コーディネーター)を導入し、運転手不足という構造的課題に対し、複数の側面から対応する体制の構築を図るもの。
- ※地域おこし協力隊・・・都市部の人々が地方に移住して、地域の課題解決に取り組む制度。

■ 募集概要

- 【募集人数】 1名
- 【募集期間】 令和7年12月23日～採用まで
- 【業務内容】 (1) 運転業務に関する活動
(2) 公共交通の利用促進に関する活動
(3) 運転手確保に関する活動 等
- 【雇用者】 沿岸バス(株)留萌営業所、小鳩交通(株)留萌営業所
- 【募集方法】 市HP、Indeed、協力隊募集サイト(JOIN) 等



令和8年5月13日時点で**応募がないため**、今後も**募集を継続**